

関東ふれあいの道(茨城)⑫果樹園のみち

2021年12月24日 池内淑皓

2021年9月12日(日)曇り。前回6月12日は⑪筑波山の頂上から「つくば道」を歩いて筑波山を下山した。今回から、コースはしばらく筑波山麓の果樹園巡りとなる。筑波山麓は北に山を抱え、南は穏やかに裾野を広げる温暖な気候となっているから栗、柿、ミカン、いちごが美味しい。やっとな嬉しいウオークが始まる。



関東ふれあいの道案内板 (首都圏自然歩道協議会)



⑫果樹園のみち地図



今日の最寄り鉄道下車駅は土浦駅、8時到着



駅前のバス乗り場から、筑波山口行のバスに乗車。車窓から見ると今日歩く峠道は曇り空だ



前回⑪コースのゴール地点である平沢官衙バス停で下車、平沢大池公園に向かう



平沢官衙遺跡前を通過、かつて常陸の国筑波郡の政庁跡で、穀倉が再現されている(前項で詳述)



稲は収穫間際、秋の畑づくりをしていた。白菜の苗を植えるのだと言う



飛鳥、奈良時代から続く平沢集落に分かれて、山道に入ってゆく



この道は、つくば市から石岡市へ抜ける道で、車の往来が結構多い



関東ふれあいの道もここから果樹の里石岡に向かって、コースが設定されている



サイクリングロードとしての役割もあって、不動峠から筑波山に道が繋がる。左の青い表示版は、サイクリングの表示板



貴重な水場があった、夏は大いに助かる。私もここで一汗拭って、給水しよう



この峠道、結構勾配もあり、山も深くなってくる。この棒は朽ち果てた道標



今まで歩いてきた北条、平沢集落が見える。雲は厚いが幸い雨は来ない



「不動峠」 筑波山への道と、石岡への道を分ける。峠の上には表筑波スカイラインが通る



ここには東屋もあるから、一休みしてから行こう。サイクリングロードの表示板が邪魔



私も不動峠で記念に一枚。サイクリングのお兄さんに撮ってもらった



今日のゴール「辻」目指して峠を下る



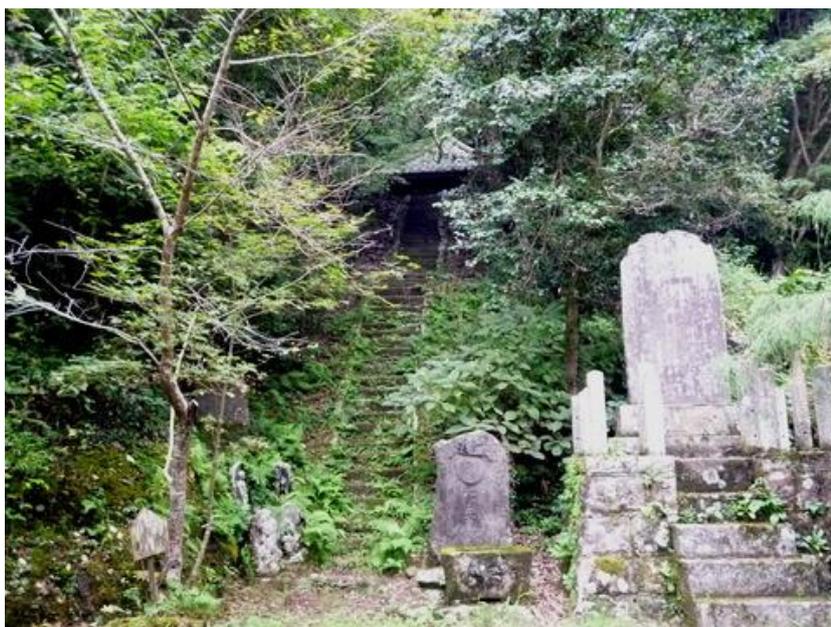
峠からの下りは、サイクリングの自転車が来ないから、静かに歩ける。道端には黒光りした巨大な岩が。



麓に下れば「仏生寺」と云う集落に出る。石岡市最奥の八郷盆地で、バスの便はない



村に入ってすぐ、関東ふれあいの道案内板があって、道に迷うことはない



集落の中に北向き観音があるから、訪ねてみる



かつて集落の産土(うぶすな)であろうか、今はひと気がない、人が居ない。苔むした石垣が昔を語る



菖蒲沢と集落を貫く道を歩く、稲刈りが始まっている。後方の山が不動峠の道



やっとタイトルの果樹園に出た。この辺りはいちご園で栗、柿、ブドウはない



ゴールの「辻」についた 12 時 40 分だ。辻はバスの便がないから、バス道路まで歩く



ゴール地点の辻の交差点には案内板と、地図が表示されている



ここからバスの通る県道まで、畑の中を行く。関東ふれあいの道の接続道となっている



栗林があった。石岡は日本有数の栗の産地で季節になると、首都圏まで出回る



やっとバス道路に出た。



フラワーパーク方面からくるバスに乗り、常磐線の石岡駅に向かう

[参考タイム] 土浦駅(8:20)→平沢官衙バス停(9:25)→不動峠(10:40-10:55)→仏生寺・北向観音(11:50-12:15 昼)→辻ゴール(12:40)→月岡(13:35-13:40)→松金バス停(14:10-14:38)→石岡駅(15:10)

この項完

「関東ふれあいの道(茨城)⑬果樹の里のみち」に続く